

【防草・防根資材カタログ】


For WEED CONTROL

ONE STEP FORWARD!

雑草にお困りではありませんか？

私たちは施工現場にあわせ、

防草・防根・葛対策に関する資材をご提案いたします。

 小泉製麻株式会社

INDEX

小泉製麻の防草・防根資材

P.3-4	防草シート 簡易選定ガイド		
P.5-6	防草シート KOMAシリーズ	砂利下・曝露	
P.7-8	防草シート 緑化マルチフェルトシリーズ	曝露	
P.9	緑化ニードルマルチ	植栽	
P.10	べた〜とシート	畦畔・都市整備	
P.11-14	バリオスネット	葛(くず)対策	
P.15-16	イカ・スミ	端部・構造物周辺	
P.17-18	防根防竹シート ROOT BLOCK	根茎境界	
P.19-20	副資材		

※当社の「強壮雑草」とは、貫通能力の高い雑草(チガヤやクマザサなど)と突き上げ能力の高い雑草(メドハギやイタドリなど)を示しています。雑草の生長に必要な要素である光、もしくは水の供給を妨げることで、生長を阻害することができます。小泉製麻の防草資材は、これらの要素のいずれかを妨げる、もしくは両方の要素を妨げることで防草効果を発揮します。

シリーズ名	KOMAシリーズ				緑化マルチフェルトシリーズ <small>パワーマルチ工法対応</small>			
品名	KOMA100EX	KOMA150	KOMA200	KOMA250	Ver.600	Ver.5	エバー	緑化ニードルマルチ
厚さ(mm)	0.3	0.4	0.5	0.6	4	2	2	2.5
質量(g/m ²)	100	150	200	250	600	310	850	—
幅(cm)	100・200	110・210	110・210	110・210	100・200	100・200	100・200	100・200
長さ(m)	50	50	50	50	50	50	20	50
色	●グレー	●グリーン ●ブラウン	●グリーン	●グリーン	●グリーン	●グリーン	表●グリーン 裏●グレー	●ブラウン
用途	砕石・砂利下専用	砕石・砂利下/曝露			曝露			植栽併用
特長	スパンボンドタイプ				フェルト4mm厚	フェルト+スパンボンドの2層タイプ	遮水タイプ	マルチング資材
材質	ポリエステル				ポリエステル			ポリエステル オレフィン系樹脂
遮光率	—	99%以上			99%以上			99%以上
耐用年数※1	—※2	5年程度～	6年程度～	—※3	10年程度～			7年程度～
掲載ページ	P.5~6				P.7~8			P.9

※1: 防草業界には耐用年数の明確な指針が定められていないため、当社では実際に敷設した現場の経過年数を目安として記載しております。目安値のため、保証値ではございません。実際の耐用年数は使用状況により異なります。
 ※2: KOMAシリーズを砕石・砂利下に敷設した場合、曝露条件ではないため「半永久的」としております。 ※3: 当社試験圃場で実地追跡調査中

— イニシャルコストを抑えたい

● 砂利や人工芝の下に敷設	KOMA100EX
	KOMA150※4
● 曝露敷設	KOMA200
	KOMA250

※4: 砂利や人工芝の下に敷設の際、埋土種子が残存している場合

おすすめ KOMAシリーズ P.5~6

— 長期対策をしたい

● 価格を抑えてできるだけ長く	緑化マルチフェルト Ver.600
	緑化マルチフェルト Ver.5
● 強壮雑草などを長期間抑制	緑化マルチフェルト エバー

おすすめ 緑化マルチフェルトシリーズ P.7~8

— 植栽と併用したい

● 針葉雑草が優勢	緑化マルチフェルト Ver.5	P.8
● 広葉雑草が優勢	緑化ニードルマルチ	P.9

— 目地、端部の防草

● 縁石周辺対策	イカ・スミ	P.15
● 支柱周りなどのスポット対策		

— 葛などのつる性植物対策

● 葛などのつる性植物対策	バリオスネット	P.11
● 小動物侵入防止		
● 防風対策		

— 小規模法面、街路などの維持管理

● 緑化したい場合	べた〜とシート	P.10
● 竹・根の侵入防止	ROOT BLOCK	P.17

1 COLUMN

防草シートの必要性について

1 防草シート使用のメリット

防草シートを施工する事で、除草剤散布や草刈りの労力を軽減できます。
 また、害虫や害獣の棲み処が出来にくく、地域の安全性向上にも寄与します。
 防草シートの種類は様々で、目的や現場環境によって、最適な仕様は異なります。
 目的に応じた品質・仕様のシートを選定し、雑草対策・景観保持にお役立てください。

2 遮光率について

防草シートの要求物性のひとつに、遮光率があります。
 遮光率が高いほど、光合成に欠かせない太陽光を遮断し、雑草の生長を抑制します。
 小泉製麻の防草シートは極細繊維を用いて密度ムラを最小限に抑えており、砕石下向けのKOMA100EX以外、全て99%以上の遮光率を保持しています。
 ぜひサンプルを光に透かしてみてください。遮光率の高さを実感いただけます。

3 透水性について

透水性が悪いと、シートの上に水たまりができ、そこに雑草の種子が飛来して発芽し、再び雑草が生えてしまうという逆効果になることもあります。
 水が溜まることで、不陸の発生につながり、衛生面で良くない影響が生じるため、防草シートの透水性も選定時にポイントとなる要件です。

当社の防草シートは全規格で透水試験を実施しています。▶





フェンスに絡みつく葛の対応にお困りなら

バリオスネット

小動物・強風対策としてもご利用いただけます

長期対策用

特許取得
(6757962)

NETIS
KK-190007-VE

抑制効果



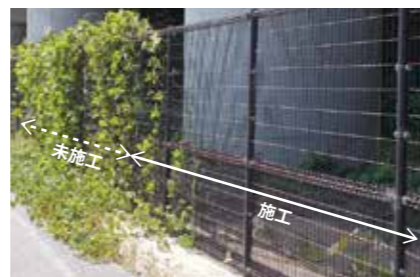
特長

- ✓ **細かい目合い** 葛(くず)が絡みにくい目合いでフェンスへの登攀を抑制
- ✓ **特殊加工** 目ズレしない特殊加工
- ✓ **耐候性** 長期利用(10年以上)を想定した優れた耐候性
- ✓ **施工性** 軽量・形状保持の特性による高い施工性



葛が立ち入り防止フェンスや転落防止柵等へ登攀(とうはん)するのを抑制できます。防草シートとセットで施工することにより、より高い効果を発揮します。鉄道や自動車専用道路、公共物件などの安全対策で使用されています。

規格(mm)	重量(g/m ²)	幅(cm)	長さ(m)	材質	色
2×4	約220	185	50	ポリエチレン	●ブラック
2×2	約190				



施工・未施工の比較



施工・未施工の比較



2 COLUMN

バリオスネットと防草シートの併用について

1 防草シートの必要性

バリオスネットを設置したフェンス付近に自立性の高い雑草種(キク科の大型種など)・灌木(ハギやイタドリ、ヨウシュヤマゴボウなど)があると、葛はそれらの植物を利用してフェンスを乗り越えようとしています。フェンス付近の雑草を抑制し、葛の乗り越えを防ぐために、防草シートとの併用をおすすめします。



2 バッファゾーンを設ける

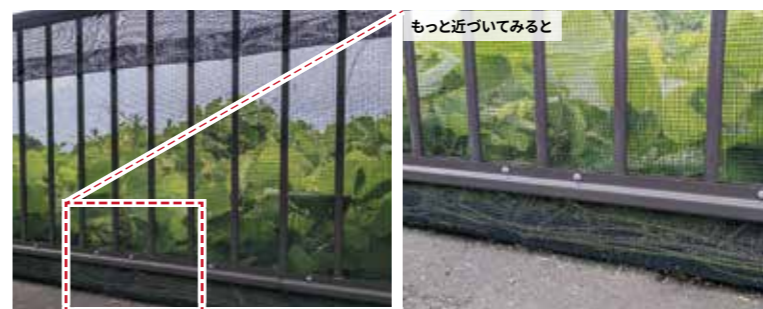


フェンスの間に防草シートを敷設することで、バッファゾーン(緩衝地帯)を設けることができます。それによりフェンスを乗り越えてくる葛を抑制することができます。現場状況にもよりますが、2m程度のバッファゾーンを設けることで、おおその葛が抑制できます。(当社調べ)

3 防草シート併用のポイント



防草シートを敷設した地際部分に隙間が生じると、そこから葛が生育します。例えば、支柱部分は円カッターを使用し防草シートを加工するなど、地際に隙間を作らない施工をすることで、より恒久的な管理が可能です。



バリオスネット越しに見える葛。葛はこちら側に乗り越えていません。

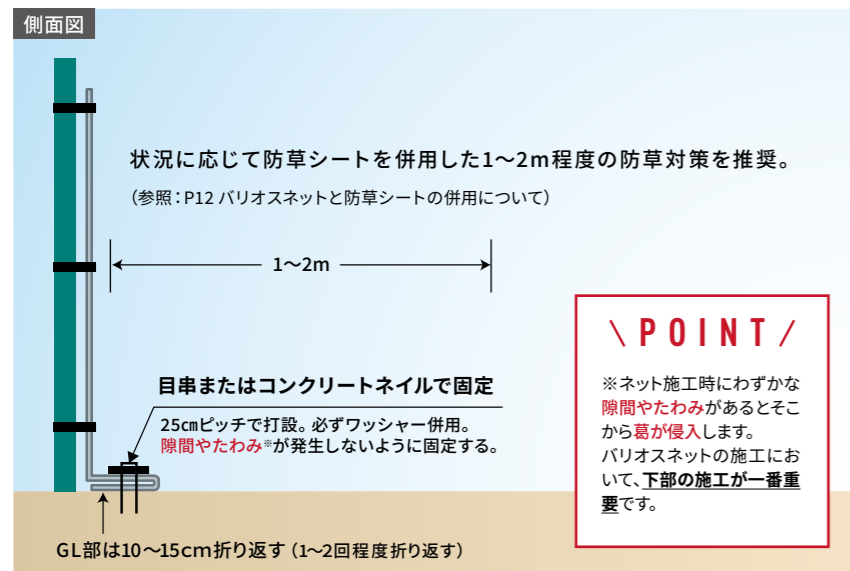
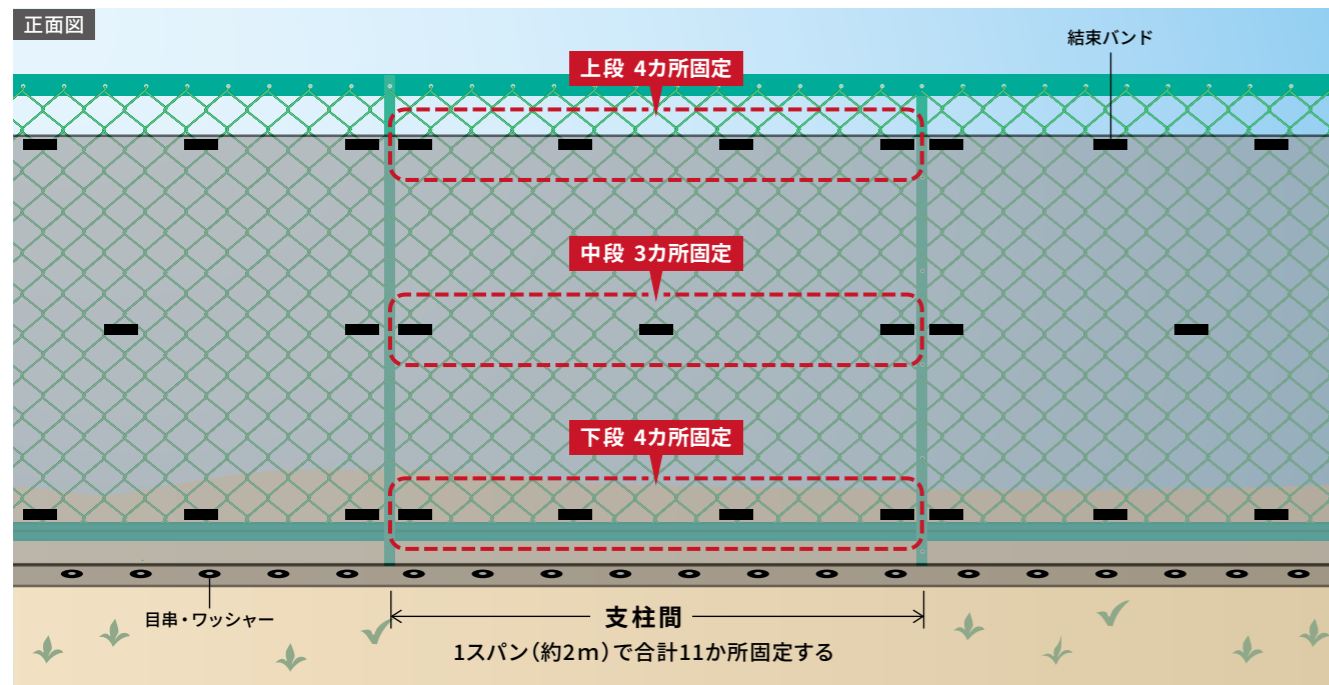
もっと近づいてみると

葛がバリオスネットに阻まれて溜まっている様子が確認できます。

POINT

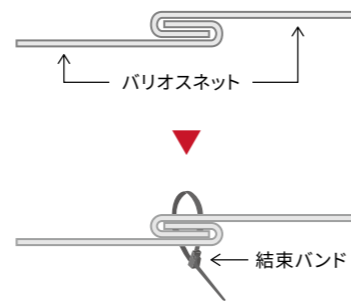
「葛の登攀を抑制できる目合いでありながら、一定の視認性がある」というのもバリオスネットの大きな特長のひとつです。

バリオスネット ■ 標準設置図面



ネットの接続

ネットを継ぎ足す場合は、各ネットの端部を5cm程度折り曲げて鉤(かぎ)状にして、重なった部位を結束バンドで固定する。



施工方法



フェンス等にバリオスネットを設置します
繁茂した葛を刈り取り、フェンスにバリオスネットを取り付けます。
結束バンドでフェンスとネットを固定します。



フェンス足元の処理



完成



フェンス足元の処理



完成

【土間の場合】

ネットの裾を防草シートで上から押さえることで、ネット際まで葛が達しても這い出ることはありません。

【コンクリートの場合】

隙間が生じないようにコンクリートネイルを打設します。より効果的な固定のためにPEワッシャーを必ず併用してください。

- POINT**
- 形状保持の特性のあるネットなので、施工場所に合わせたの折り曲げも可能です。
 - 防草シートとの併用でさらなる抑制力が期待できます。

施工方法は動画でもご覧いただけます



バリオスネット ■ 施工事例

バリオスネットが葛の登攀を抑制している様子(施工後、一定期間経過) 事例写真

現場実績増加中

